

## 夏はボボーンと盆踊り！

玉川の夏といえば納涼盆踊り大会！今年もあります！やります！踊っていただきます！どの会場も古いも若きも、男性も女性も、もちろん小さなお子さんも大歓迎！地元商店会、町会、法人会、PTA 等が中心になって運営する屋台も出ます、食べさせます、飲ませます、遊ばせま〜す！皆さんぜひぜひお誘い合わせの上、さあレッツ盆！盆！でも、「盆踊り」ってお盆の時期に行うから「盆踊り」っていうことでのいいの？実はそのとおり、いいんです。「盆踊り」の名前の由来は、年に一度この世に戻ってくる精霊を迎え、また送るための風習である「盂蘭盆会（うらぼんえ）」の時期に踊るから「盆踊り」というのです。そのルーツは意外と古いようです。「盆踊り」のルーツは、一説には鎌倉時代中期に一遍が広めた「踊り念仏」といわれています。それが次第に宗教色が薄れ、踊りそのものにウェイトが置かれるようになり、戦国時代には、そのものズバリ！お盆の時期に踊る「盆踊り」として登場。江戸時代中期には「盆踊り」の名称も定着。明治初期や戦時中は「盆踊り」も中止させられていましたが戦後に復活、各地で大ブレイクしました。さあ今年も暑い夏を盆踊りで吹き飛ばしましょう！



### < 瀬田 >

毎年美味しい屋台や楽しい催しが盛りだくさんの瀬田盆踊り大会に参加して暑気払いしましょう！



# 7月30日(土)・31日(日)

## 於：瀬田小学校校庭

## 時間：午後6時～9時

### < 玉川 >

# 7月22日(金)・23日(土)



美味しい屋台  
楽しい催しが  
待っています！

## 於：国道246 高架下ふれあい広場

## 時間：午後7時半～午後9時

### \* てくたく刀サッチ #38 「次大夫堀」瀬田 4-7\*

慶長年間、徳川家康が主として下流の六郷地方の米の増収をはかるため、代官小泉次大夫吉次に命じて開削した灌漑用水で、世田谷地方の人々は「次大夫堀」(旧六郷用水、現丸子川)と呼んでいました。慶長2年(1597)から工事が始まり、途中関ヶ原の戦いなどがあって中断され慶長16年(1611)に完成しました。狛江市和泉で多摩川の水を引き込み、狛江、喜多見、岡本、瀬田、上野毛、尾山台、そして大田区の六郷、蒲田、大森の水田をうるおしていました。なお、堀を横切る道のひとつ、大山道の橋に次大夫の名をとどめています。現在、この大山道は二子玉川商店街となって私たちの生活を支えています。



# < 用 賀 > 『用賀に夏が来た! サマーステージ28』

7月20日(水)・21日(木) 17時~21時 於:くすのき公園



用賀はサマーステージと題して盆踊りのほかに、ステージ上で様々なグループが歌や踊りやダンスを披露する予定。PTA や商店街青年部を中心とした屋台や模擬店は例年大盛況! 今年はどうな屋台が出店するのか? 今から楽しみです! 是非お越しください!

## 今年もあいまあ! 世田谷区たまがわ花火大会

今年のテーマは『華 ~未来に向かって咲かせよう輝く夢の大輪~』

8月20日(土) 午後7時~8時

今年『華 ~未来に向かって咲かせよう輝く夢の大輪~』をテーマとして花火大会が演出されます。

子ども達の無限に広がる想像力、若者たちの新しい文化創造への熱気、大人たちが先導する洗練された優美さへの追及、そして、豊かな自然の美しさ。それら世田谷が誇る美しい文化を創造する人々と地域の魅力を、花火の「華」になぞらえ、色彩豊かな花火と、芸術的な知性を持つ大玉で、夜空をアーティスティックに彩ります。

## 『川崎市制記念 第75回多摩川花火大会』

多摩川花火大会は1929年に始まり、本年で75回を迎える歴史ある花火大会で、多くの市民に親しまれています。今年も世田谷区たまがわ花火大会との同時開催により、一層華やかな大会となります。

今年もスターメインやナイヤガラのほか、音楽と花火のコラボレーション“ハナビリュージョン”を予定しています。



日時:平成28年8月20日(土)

\* 荒天の場合は中止、順延なし

花火打上げ午後7時00分から

午後8時00分まで(予定)

場所:川崎市高津区諏訪・多摩川河川敷

(第三京浜道路・国道246号

(二子橋)間の河川敷)

今年も、音楽と花火をシンクロさせた華やかな大スターメイン「ハナビリュージョン」により多摩川の夜空を演出します! ポジションによっては川崎、多摩川両方見える場所があります。是非、ご自身のベストポジションを発見して夏の風物詩を満喫してください!

それ行け!!  
アサッチ

